

想定される論点と今後の議論の進め方

1. 想定される論点

- ① 文化振興に関する施策の体系の中で、著作権制度が担っている意義、役割はどのようなものか。
- ② 表現手段、流通手段の変化（例えば、昨今であればデジタル化、ネットワーク化の進展）等の下で、著作権制度の果たす役割に変容が生じているのか。
- ③ これらを踏まえ、これまで解決の得られていない課題を含め、今後の著作権関連施策について、どのような方向性をとるべきか。（その際、著作権制度とその他の文化関連施策、ビジネススキーム、技術的手段等との関係をどう考えるか。）

2. 今後の議論の進め方（案）

- まずは、関連分野の有識者や、著作物等に関連する事業を行っている事業者等からヒアリングを実施し、上記の点について、実情を聴取してはどうか。
（デジタル化、ネットワーク化の進展前後での変化があれば、それも含めて）
- ヒアリング対象
 - ・ 関係学問分野の有識者（著作権法学のほか、文化政策学等も含め）
 - ・ コンテンツ関係事業者、情報技術関連事業者
 - ・ 文化関係団体、経済団体